十日町地域 稲作生育速報（令和７年6月 10 日）

十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会

〇５月下旬からの日照不足及び６月初めの低温により茎数増加が緩慢となっています。
〇今後、高温が予想されているため、茎数の急激な増加が予想されます。田植え 25 日後頃に茎数を確認し、目安の茎数を確保したら中干しを開始しましょう。

【水稲の生育状況】コシヒカリの生育データ（６月 10 日現在）※（ ）内は指標値比･差

調査地点	育苗様式	田植日	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(葉)	葉色(SPAD)
十日町（小黒沢）標高 150m	稚苗	5/15	26 (96%)	202 (92%)	7.3 (+0.3)	39.1 (+2.6)
川西（上野）標高 170m	稚苗	5/19	30 (111%)	183 (83%)	6.4 (-0.6)	36.2 (-0.3)
松之山（兎口）標高 430m	中苗	5/23	32 (123%)	112 (102%)	6.1 (+0.4)	30.3 (+0.3)
津南（米原）標高 450m	中苗	5/31	23 (82%)	66 (47%)	5.0 (-1.5)	-

【気象予報】北陸地方の１か月予報（新潟地方気象台６月５日発表、６月７日～７月６日）

気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

【今後の管理】

１　中干し・溝切り

茎数の目安(本/株)	
50 株植	60 株植
16～18	13～15

・田植え 25 日後頃に茎数を確認し、目安の茎数（右表）を確保したら中干しを開始しましょう。
・田植え後１か月を過ぎて茎数が目安に達しない場合でも、根の健全化のため１度は落水し、土壌に酸素を供給しましょう。
・中干し前でも、ワキや藻類・表層剥離の発生が見られたら、水の更新や夜間落水を行い、根腐れや生育停滞を防ぎましょう。
・迅速なかん水や中干し効果を高めるためにも、溝切りを実施しましょう。

２　病害虫防除

・斑点米カメムシ類の増殖を防ぐため、３週間程度の間隔で畦畔の草刈りを行いましょう。（３週間はイネ科雑草が穂をつけないようにするための間隔）
・梅雨に入ったため、いもち病に感染しやすい気象条件（高温多湿）の日が多くなります。補植用苗は、補植が終わったら速やかにほ場から撤去するとともに、葉いもちの早期発見、早期防除に努めましょう。

発行者：十日町農業普及指導センター（作物担当）
TEL　025-757-5516・6061
H P　http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_nogyo/suito.html

LINE 水稲情報は
こちらから→

こまめな休憩と水分補給で、熱中症を予防しましょう！